

## 6月の振り返り

6月14日は、綾高のメインイベントの一つの体育祭が行われました。既に日中は真夏のような暑い一日でした。今回は体育祭中心に振り返りをしたいと思います。

体育祭の行事としての目標は、大きく次の二つがあると考えます。

- ① 心身の健全な発達、増進
- ② 規律ある集団行動を体得する

生徒各々が「体力の向上」「運動に親しむ」「責任を持つ」「連帯感を持つ」などの目標を持ち、それを育成したり成長させたりして欲しい。開会式ではこの話も行い、生徒には今日は特に「知・徳・体」の「体と徳」について目標を持ち、楽しみながら、自身の成長に繋げることを期待していると話しました。

体育祭実行委員が考えたスローガンは「燎原の火のごとく」です。生徒は、「我々の体育祭に臨む熱量は凄まじく勢いを止めることができないのだ」と発信してきました。気合い、奮闘、熱中、情熱、打ち込む、全身全霊、ひと言で例えることの難しい気持ちが伝わってきました。欲を言えば、このスローガンを全校生徒にもっと発信して、生徒と教職員が共感した中で体育祭が行われることです。校長の次の目標にしたいと思います。

体育祭は80m走、100m走、4人5脚、大縄跳び、綱引き、団対抗男女別リレー、部活対抗リレー等の種目があります。競技に選手が全力で取り組むので、周りの生徒も感動して応援したくなるのでしょう。同じ方向に視線を注いで、一喜一憂しながら見守っていました。

体育祭で期待する応援合戦の準備は、4月頃から5色の団長を中心にして行われます。応援のパフォーマンスを当日競いますが、どの団も7分間の素晴らしいパフォーマンスを作り上げました。生徒も保護者も教員も一斉に集中して見ていましたが、表現し難い一体感を見て感動しました。

きっとこの日を迎えるまでに何かしらの苦労があったと思いますが、引っ張ってきた各団長、それを支えた副団長たち、本当によく頑張った。お疲れさまでした。

生徒たちに感動させてもらった体育祭でした。そんな生徒たちを誇らしいと校長として感じました。

体育祭の様子は生徒会が「綾瀬高校 公式 X (旧 Twitter)」にも投稿しています。ぜひご覧ください。